

代替フロン等3ガス分野の 対策について

平成19年7月6日

環境省

代替フロン等3ガス分野の対策

< 現行目標達成計画上の対策 >

産業界の計画的な取組の推進

代替物質の開発等及び代替製品の利用の促進

法律に基づく冷媒として機器に充てんされたHFCの回収等

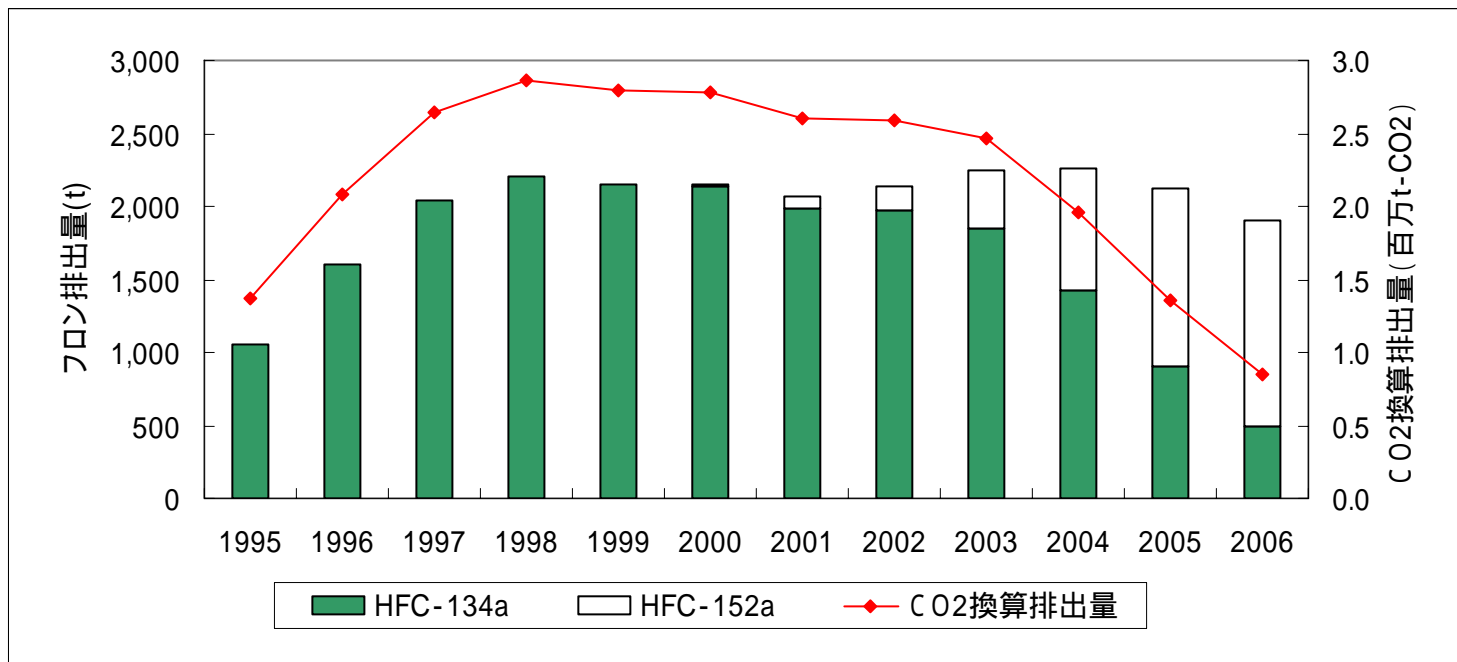
< 対策の推進状況 >

	基準年 (1995年)	2006年	代替フロン等3ガスの目 標及びガス別の目安
	百万t-CO ₂	百万t-CO ₂	百万t-CO ₂
代替フロン等3ガス	51.2	16.6	51
HFC	20.2	6.7	34
PFC	14.0	5.6	9
SF6	16.9	4.3	8

エアゾール製品のノンフロン化・低GWP化

(パソコンのほこり飛ばしなどで使用されるダストブローア等)

グリーン購入法に基づき、国が率先してノンフロン製品等を利用し、普及を促進



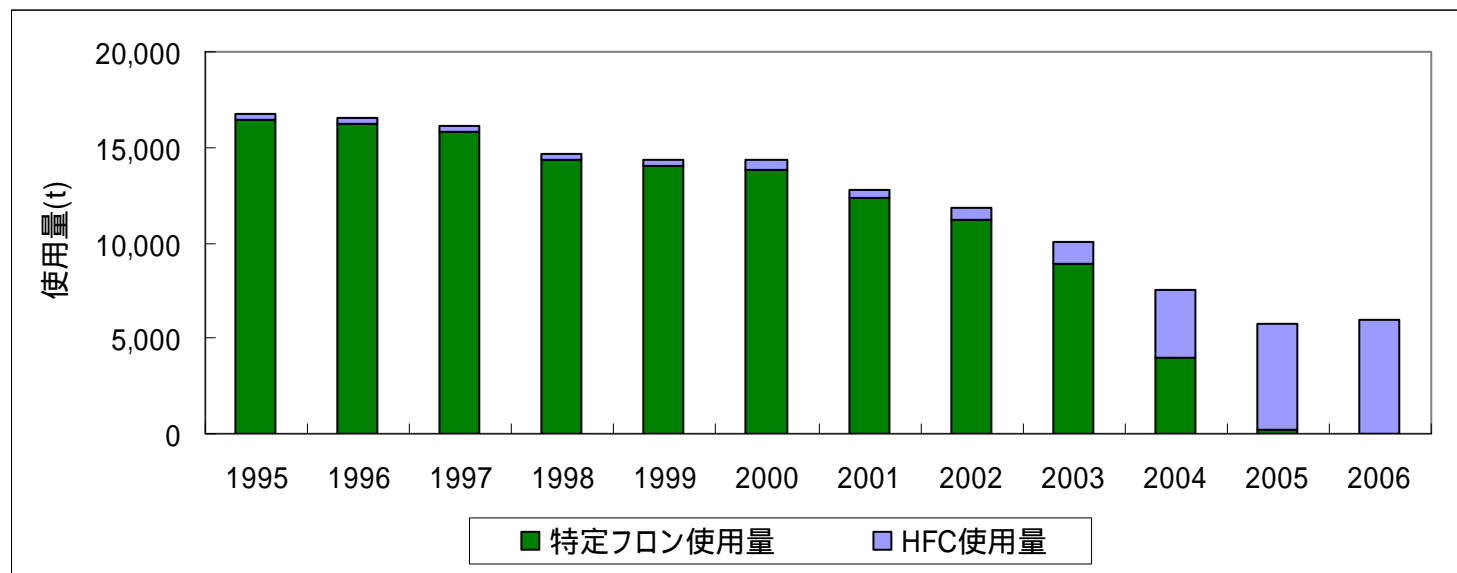
フロン排出量の合計に大きな変化は無いが、地球温暖化係数(GWP)の低い物質の使用により、CO2換算による排出量は減少。

今後さらにノンフロン製品の普及を促進。



発泡・断熱材のノンフロン化・低GWP化

- グリーン購入法に基づき、国が率先してノンフロン製品等を利用し、普及を促進
- 日本工業規格(JIS)におけるノンフロン品(A類)の規定化
- 公共建築工事標準仕様書等でのノンフロン製品の使用の規定化

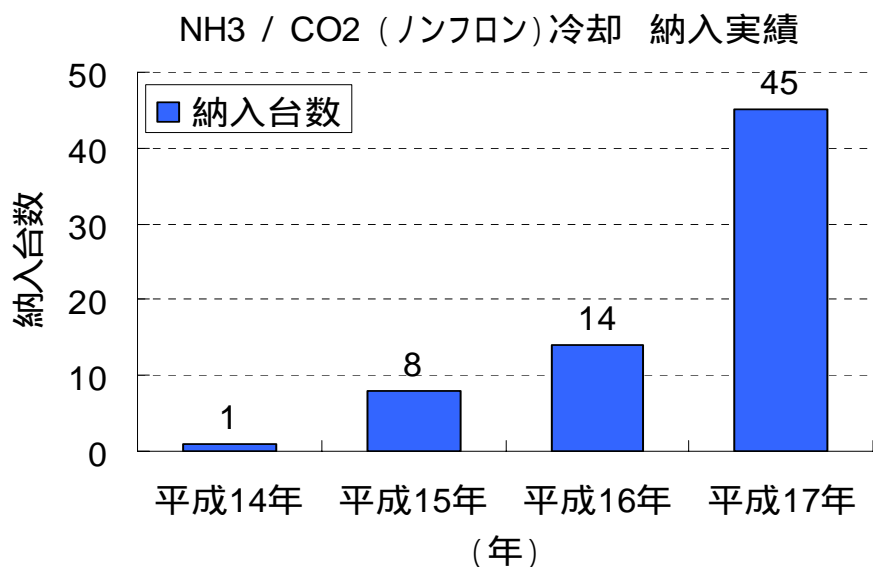


特定フロンからノンフロン製品への転換が進み、フロン類の使用量が減少。



ノンフロン型冷凍機の導入促進

技術開発を推進するとともに、実用化された分野から補助等により普及を促進



出処: 日本冷凍空調学会のとりまとめによる

【冷凍倉庫・食品工場等】

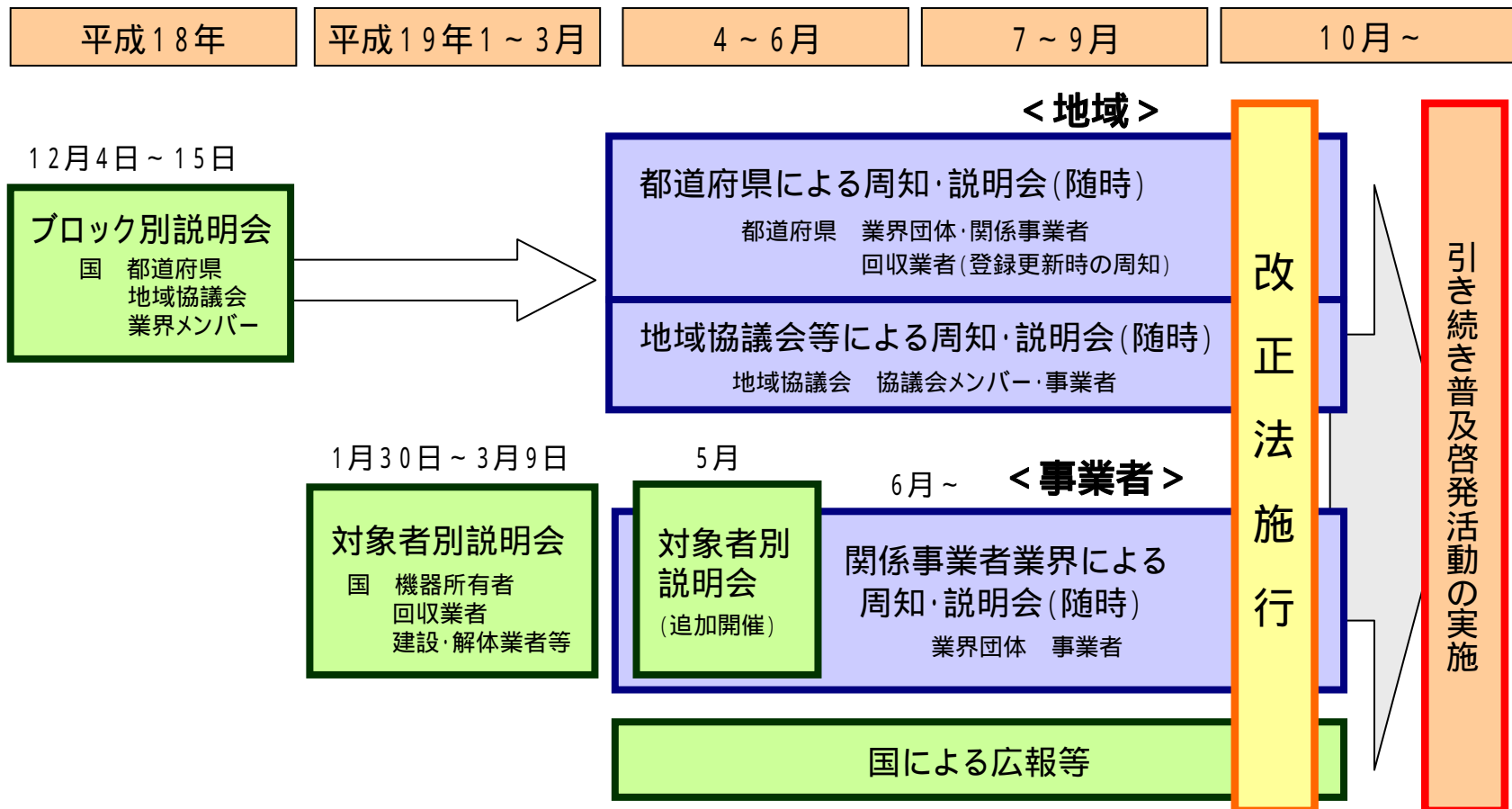
- 省エネに優れたノンフロン機器が開発されており、愛知万博マンモス冷凍展示施設等で使用
- 補助により冷凍倉庫、食品工場等のノンフロン化を推進

「省エネ型低温用自然冷媒冷凍装置の普及モデル事業」
(H17~)

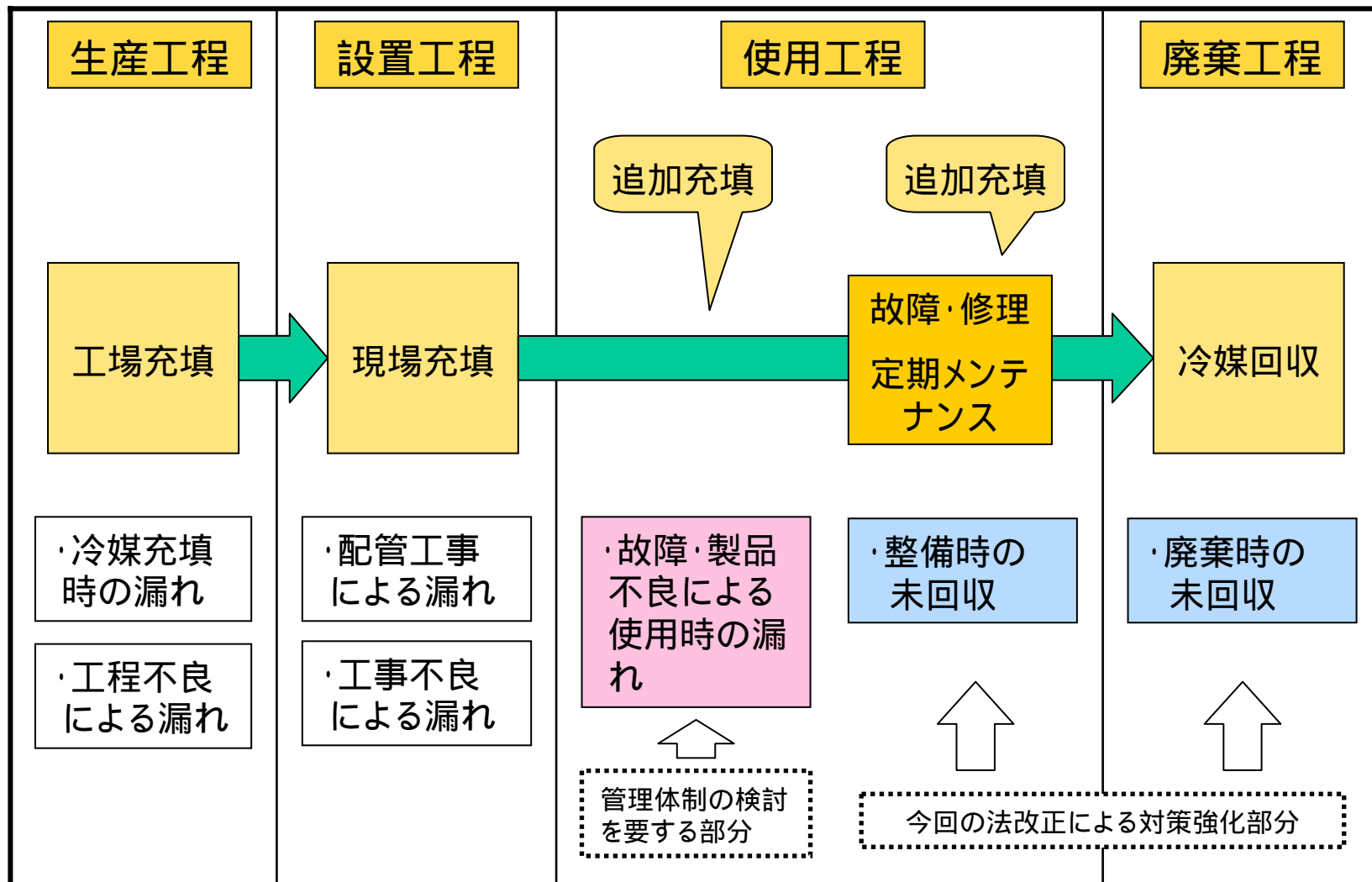
- ノンフロン冷凍機が使用可能な分野への導入を促進

冷媒HFCの回収向上

冷媒HFCの回収向上のため、法改正を実施。平成19年10月に施行。
普及啓発のため、国を始め、都道府県、事業者で説明会を実施。



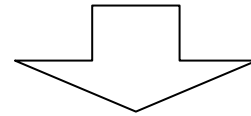
使用時の漏洩量に対する目標や管理体制の検討



液体PFC等の適正処理対策

使用・排出の詳細が不明な洗浄剤・溶剤分野の液体PFC等

出荷量の全量が排出されたものとして算定
(2006年において、約160万t-CO₂の排出量を算定)



液体PFC等の排出抑制のための対策

- 使用・排出実態の調査
- 適正に破壊するための処理技術の確立支援
- 破壊による温室効果ガスの排出削減量の把握方法の検討
- 液体PFC使用機器の所有者等に対する適正な処理方法の周知 等